

令和4年度 高志高等学校 学校関係者評価書

(問) ・令和4年度の成果と課題について
・令和5年度に向けての改善策・向上策について

(意見を聞いた方)

PTA役員 4名

○自ら学ぶ生徒を育てる

・昨年と比較すると、「深く考える授業を受けている」と思う生徒は減少しており、「深く考えさせる授業をしている」と思う教職員は増加している。授業内容について両者の認識のズレがあるのではないかと。
・家庭学習における設問が曖昧で、設問の取り方次第で回答が変動する可能性がある。「自ら課題を設定している、していない」とし、学習時間によってA～Dで回答を求めることも考えられる。また、同様に保護者にも時間を基準として回答を求めているかどうか。

○自ら考え責任を持って行動する生徒を育てる

・今後も、生徒が提案しやすい環境を作って頂きたい。また、実現がかなわない提案であっても、生徒と教職員の間で意見交換を十分に行い、生徒が納得できるようにして欲しい。
・コロナ禍の中においても、昨年と比べて様々な活動の制約が緩和されたことあって、積極的に学校活動に取り組んでいることが見受けられる。

○生徒の夢・希望の実現を支援する

・GoogleClassroomでの情報提供について、多くの情報が掲載してあり今後も続けて頂きたい。一方で、生徒自身が興味を持ち情報を上手に活用していけるように、保護者へも情報提供を行って頂き、生徒を応援していく必要があると感じている。
・より高い進路目標の設問に関して、生徒と教職員とで、認識に大きい差異がある。この要因を調べる必要があると思われる。

○豊かな情操の涵養

・図書館の利用者数は減少しているのではないかと。読書や学習に関して、生徒は紙媒体から電子媒体に移っているように感じる。記憶の定着には、紙文書の方が有利であることを伝えていく必要があるのではないかと。
・読書の傾向が弱まっていることが実態として表れている。生徒は情操を満足させるためというより、直接受験に結びつかないと本を手にとることが少なくなるのではないかと。読書が生徒にとってどのような意味を持つのか、生徒自身が理解することが必要。

○安心して学べる環境

・悩みを持つ生徒が相談しやすい環境を引き続き作って欲しい。
・悩みを打ち明けることができる場があることを生徒が理解していることは、これまでの取り組みの成果が出ていると思われる。防災については、災害だけではなく、不審者への対応など人的被害の想定をし、そうした設問の設定も必要かと考える

○広報

・学校ホームページでの情報発信を引き続き行って欲しい。

○働き方改革

・教職員が心身共に健康であってこそ、生徒へのきめ細かな対応ができると考える。業務の効率化等を進めてできた時間を有効に活用して頂きたい。
・働き方改革を学校側が進めていること、その具体的内容を保護者が知っているかを確認する設問があれば良い。

○総合

・「改善策・向上策」を今後も適切に進めて頂き、生徒が自立した人となれるよう、保護者も協力していきたい。
・「私が参加することで、学校や社会を今よりも少しよくすることができる」という設問が、現在と将来を共に含んでいるので、回答者にとって立ち位置が不明な設問になっている。趣旨からすると、未来志向の設問が適切かと思われるが、併記する場合は設問を分けた方が良い。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

・中高一貫校の探究創造科として効果的な教育課程について、SSHの取り組みの経験を生かしながら、今後も検討を続けていく。
・生徒の提案を実現するために必要な検討・議論・手続き等を含めて生徒への助言を行い、生徒の主体的に取り組む姿勢、リーダーとしての資質を育成に努める。
・自らの進路実現のため、生徒が自主的に目標を定め行動する姿勢が重要であり、このための指導をPTA・保護者と連携しながら一層充実する。
・学校からの情報発信に学校ホームページを活用するとともに、保護者への連絡文書のデジタル化やアンケートの電子処理化等の情報機器の活用を進め、発信側・受信側双方の利便性の向上に取り組む。
・今後ともPTAとの連携を密にとりながら、学校運営をすすめていく。